

平成28年度 第1回大阪府医療勤務環境改善シンポジウム ～勤務環境改善に向けた取り組みを進めよう～

去る6月27日(月)、池田泉州銀行会議室において、大阪府私立病院協会、大阪府看護協会、大阪府医療勤務改善支援センター(以下支援センター)主催による、第1回大阪府医療勤務環境改善シンポジウム～勤務環境改善に向けた取り組みを進めよう～をテーマに研修会を開催いたしました。

参加者は大阪府内の83施設(他3施設)134名の参加者がありました。内訳は理事長・院長7名、事務部長(事務長)40名、看護部長(師長含む)75名、関係者12名です。

第一部では3施設からの勤務環境改善事例報告、第二部は「勤務環境改善に向けた取り組みを進めよう」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

今回の研修会の特徴としては、大阪府、大阪府私立病院協会と締結した東京海上日動火災株式会社、池田泉州銀行との官民連携により行われた初めての研修会であることです。

第一部の事例報告は、大阪府済生会吹田病院 副院長兼看護部長 池田恵津子氏から、『働き続ける』を実現する勤務環境改善～看護管理者への支援～をテーマに、勤務表作成ソフトの導入により、師長の勤務表作成の負担軽減、標準化、スタッフのモチベーション維持に繋がった事例。

医療法人第一東和会病院 事務長 行本百合子氏からは『医療従事者をサポートする手術室管理』～適正在庫が可能となる物品管理を目指して～をテーマに、事務部門が中心となってこれまで医師、看護師が行ってきた業務を事務部門が引き受け、経営管理を視点に置いた物品管理を行ったところ、手術件数の増加、医師・看護師の満足度の向上が図れた事例。

社会医療法人美杉会佐藤病院 理事兼看護部長 高須久美子氏からは、『勤務環境改善はこう取り組む 中小民間病院における労働環境改善への取り組み』～短時間正職員の活用とママさんナース支援～をテーマに、短時間正職員制度の導入による、優秀な人材確保や雇用促進、ママさんナースの活用事例の報告がありました。

第二部のパネルディスカッションは、大阪府健康医療部 上家子部長をコーディネーターとして、パネリストに厚労省(東京海上日動火災保険株式会社出向) 中野孝浩氏、支援センター相談員 茶木隆子、第一部での報告者3名の計5名で行われました。中野氏からは、マネジメントシステム導入の背景及び概要の説明があり、支援センターからは、平成28年1～2月実施した大阪府内531施設のアンケート結果の中間報告及び「勤務環境改善セルフチェックリスト」簡易版の提案をしました。ディスカッションは、アンケートの3つの視点「退職者の減少」「職員満足度の向上」「過労・メンタル等による出勤者の減少」を中心に、各施設における取り組みや状況の報告が行われました。ま

た、今回の研修会は官民連携という特徴を踏まえて、中野氏からは企業との連携の取り組み事例等の報告、東京海上日動火災株式会社、池田泉州銀行の担当者から連携の趣旨等の説明がありました。

医療勤務環境改善は人材の確保・定着に繋がり、ひいては医療の質の向上につながります。本研修会では、3施設からの好事例の紹介による自施設の改善取り組みのヒントやマネジメントシステム導入の利点等参考となる内容であったと考えています。

支援センターでは、発足当初から研修会での取り組みの好事例の紹介やマネジメントシステムの理解、施設を訪問してヒアリングによる取り組み事例冊子の作成、相談対応等の取り組みを進めてきました。しかし、繁忙を極める医療現場において、常日頃からその必要性を理解し、感じていても実践には困難が伴うものと思われまます。そうした負担を出来る限り軽減し、なおかつ簡便に自施設の勤務環境の状況を把握できるようにと「大阪府勤務環境改善セルフチェックリスト」簡易版を作成しました。本研修会に於いても紹介しましたが、管理者はじめ職場全体で問題を共有し、意識することによって改善に繋がるものと考えています。是非活用していただき、勤務環境改善のことでお困りの際は支援センターを活用していただきたいと思います。

記：茶木隆子
(大阪府医療勤務環境改善支援センター 相談員)



発表者 池田恵津子氏



発表者 行本百合子氏



発表者 高須久美子氏



コーディネーター 上家子氏



パネリスト 中野孝浩氏



パネリスト 茶木隆子氏